

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成26年1月17日 NO.29

7小フェスタご参加よろしく！

明日18日（土）は、二学期末から準備を進めてきた7小フェスタ本番の日です。大成功させようという目標のもと、各クラスみんなで力を合わせ協力して作り上げてきました。明日は、一人一人の児童の頑張りの成果をぜひ見に来て頂き、たくさんの応援をお願いいたします。児童は、期待されることで成長し自信を深め、励まし認められることで達成感を味わえることができます。

明日はきっと素晴らしい発表を見せてくれることでしょう。保護者・地域の皆様のご参加をお待ちしております。乞うご期待！

※前半発表時間は9：00～10：00 後半発表時間は10：10～11：10

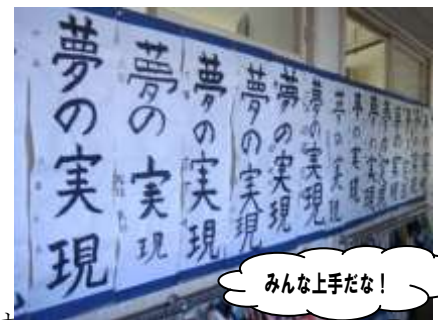


書き初め展もご鑑賞よろしく！

昨日16日から24日（金）までの間、各教室の廊下掲示板に貼りだしております。鉛筆をしっかりとにぎり、正しい姿勢で一生懸命に書いた低学年の子供達。真っ白な半紙に墨痕鮮やかに、毛筆の腕前が上達した姿を見せる中・高学年の子供達。全校児童が皆、真剣に臨んで書いた力作をぜひご覧下さい。7小フェスタと併せて掲示してありますので、お見逃し無くよろしくをお願いいたします。

なお、書写に関して、その目標を学習指導要領より以下転載します。

| | |
|------|---|
| 1・2年 | ア 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。 イ 点画の長短や方向、接し方や交わり方などに注意して、筆順に従って文字を正しく書くこと。 |
| 3・4年 | ア 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。 イ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。 ウ 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くこと。 |
| 5・6年 | ア 用紙全体との関係に注意し文字の大きさや配列などを決めるとともに書く速さを意識して書くこと。 イ 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。 ウ 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。 |



校長先生の作文教室始まり！

今までの私の経験で、子供達に「今日は作文を書きます！」と言うと、返ってくる反応は、「え！めんどくさい」「作文は苦手」という声が多かったと感じています。作文は言語能力の総合力を示すものであり、児童の興味・関心、さらに思考力・表現力などの個人差も大きく、指導がとても難しいと言われていました。また、一斉指導も困難で、個人指導を行うには忙しく時間が足りない等の課題も見られる学習内容と言えるでしょう。

そこで、子供達に少しでも作文への抵抗感を無くし、書くことの喜びを感じてほしいと願い、「校長先生の作文教室」を実施することにしました。内容としては、まず、基礎基本を押さえるために、例文を入れ作成したテキスト用の作文を視写しながら学びます。その後は、題材を与えて作文を書かせ、個別指導の時間を作り指導・助言もしていきたいと考えています。

初めての試みであり、試行錯誤の連続かと思いますが、全校児童一人一人に丁寧な指導をしていきたいと考えています。かなり長いスパンが必要であり、時間がかかることが予想されます。もちろん今年度だけでは終わるはずはありません。児童の実態を把握しながら、あせらずにじっくりと取り組んでいきたいと思っております。

一昨日、まず始めの一步として、4年生を対象に、『作文を楽しんで書くための20条の憲法』も作成し指導しました。次号にはそれも含めお知らせいたします。

